

令和5年6月27日（火）
11:00 ~ 11:30

第114回東京都技術会議

会 議 次 第

1 開 会

2 議 題

令和5年度「東京都技術会議」の活動

検討テーマ

- ・ポストコロナを契機としたまちづくり
- ・まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化
- ・技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成

3 そ の 他

4 閉 会

東京都技術会議組織名簿

(座長)

東京都技監(建設局長 兼務)

中島 高志 (土 木)

(副座長)

都市整備局長

谷崎 馨一 (土 木)

下水道局長

佐々木 健 (土 木)

(委員)

政策企画局技監(生活文化スポーツ局技監 兼務)

安部 文洋 (土 木)

都市整備局技監

小野 幹雄 (建 築)

都市整備局技監(デジタルサービス局理事(データハイウェイ推進担当) 兼務)

湯川 雅史 (土 木)

都市整備局理事(航空政策・交通基盤整備・交通政策担当)

朝山 勉 (土 木)

住宅政策本部技監

青柳 一彦 (建 築)

福祉保健局技監

成田 友代 (医 師)

建設局道路監

花井 徹夫 (土 木)

港湾局技監

片寄 光彦 (土 木)

水道局技監

松田 信夫 (土 木)

流域下水道本部長

猪八重 勇 (土 木)

※ 東京消防庁企画調整部長

瀬崎 幸吾 (消 防)

※ 財務局 建築保全部長

金子 陽子 (建 築)

※ デジタルサービス局次長

丸山 雅代 (事 務)

※ 環境局 環境改善技術担当部長

宗野 喜志 (土 木)

※ 中央卸売市場 環境改善担当部長

萩原 清志 (土 木)

※ 交通局 車両電気部長

生越 啓史 (電 気)

※ 交通局 建設工務部長

坂口 淳一 (土 木)

※ (産業労働局所管) 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター研究開発本部機能化学材料技術部長

瓦田 研介 (理工技術)

※ オブザーバー

【資料】

- 資料 1 令和 5 年度 東京都技術会議の活動
- 資料 2 ポストコロナを契機としたまちづくり
- 資料 3 まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化
- 資料 4 技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成
- 資料 5 関東大震災100年を契機とした気運醸成

参 考 東京都技術会議設置要綱、組織名簿

検討テーマ1 ポストコロナを契機としたまちづくり **【新規】**

【事務局】都市整備局、港湾局、建設局

★まちづくり部会

【目的】新型コロナウイルス危機はテレワークやデジタル化の進展など経済・社会への影響とともに、人々の生活等への意識にも変化をもたらした。こうしたコロナ禍による変化と現状の分析を基に、今後の生産年齢人口の減少や、DX・GXの動向等を踏まえたこれからのまちづくりにおいて考慮すべき論点を整理する。さらに論点を踏まえた今後充実させる取組事例を各局から収集し、今後のまちづくりの方向性を示す。

検討テーマ2 まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化 **【継続】**

【事務局】下水道局、水道局、都市整備局

★国際発信力強化部会

【目的】国際的な都市間競争が激化する中、東京を更に発展させるため、海外の先進事例を参考に時代を読みながら国際的な展開力を高める取組を一層強化する必要がある。

東京が生み出す価値は世界が抱えている様々な都市問題の解決につながるため、まちづくりやインフラ分野において、SusHi Tech Tokyoとも連携し、国際発信力の強化などの取組を推進していく。

検討テーマ3 技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成 **【継続】**

【事務局】住宅政策本部、交通局

★技術力維持向上部会

【目的】「未来の東京」戦略に示した東京の将来像の実現に向け、都市活動や都民生活を支えるまちづくりやインフラ分野における整備・管理などの持続可能な取組を着実に推進するためには、その取組を支える都の若い技術職員の確保等が重要である。

このため、令和4年度の技術力維持向上部会の取組も踏まえ、「都庁技術者」の人材確保及び人材育成の方策について更に検討し実施する。

令和5年度 東京都技術会議の活動

令和5年6月27日
第114回東京都技術会議

資料1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議			第114回 (6/27) ★					第115回 ★			第116回 ★	
幹事会			第1回 (6/21) ★					第2回 ★			第3回 ★	
部会	本会議、幹事会にあわせて随時開催											

(1) コロナ禍による変化などを踏まえた
現状分析と課題認識

公共空間の活用、公園利用者の変化、
テレワークの普及、交通需要の変化 など

(2) これからのまちづくりにおいて考慮すべき論点

- ✓ 人中心の歩きやすいまちづくり
- ✓ 水と緑にあふれる都市づくり
- ✓ DX・GXの推進
- ✓ 交通手段の多様化
- ✓ HTT・脱炭素の推進 など

(3) 論点を踏まえ充実させる個別具体の取組事例

- ✓ 道路や公開空地の一体的な再編
- ✓ ゆとりと潤いにあふれる水辺空間
- ✓ 東京みなとDX推進プロジェクト
- ✓ 舟運の活性化
- ✓ 自律分散型電源確保の推進 など

(4) 事例を踏まえたまちづくりの方向性

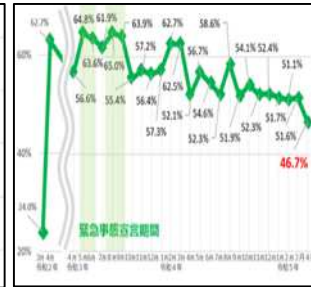
各局の事例を踏まえ、様々なニーズや変化に
対応できるようなまちづくりの方向性を示す

(1)



公園利用者の変化
(R2.8 新型コロナウイルス危機を契機とした
まちづくりの方向性(国交省))

(2) (3)



テレワーク実施率の推移
(R5.5 産業労働局HP)



道路や公開空地の一体的な再編
(R5.3 西新宿地区再整備方針)



ゆとりと潤いにあふれる水辺空間
(R5.2 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会)



業務の生産性向上、迅速な災害対応を実現

東京みなとDX推進プロジェクト
(R5.1 シン・トセイ3)

(1) 東京都の先進的な取組みを発信

- 国際ネットワークを活用した発信の強化
 - ・国際会議でのプレゼン、ブース出展
 - ・開発途上国への技術支援
 - ・SusHi Tech Tokyoとの連携を行い、国際発信力を強化するとともに取組を推進
- 戦略的な広報の推進
 - ・Tokyo Tech Bookの充実
 - ・海外向けSNSによる発信



等

(2) 海外主要都市との技術交流

- 海外技術者等との交流
 - ・インフラツアーを通じた技術、ノウハウの紹介
 - ・海外技術者との意見交換等の実施
 - ・コロナ禍で低迷している海外との技術交流を回復

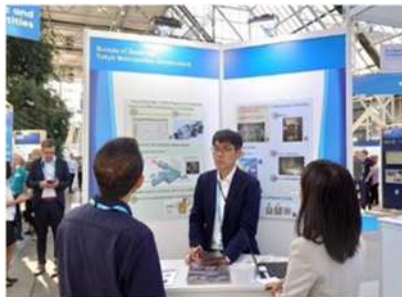
等

(3) 海外主要都市の先進事例の調査・研究

- 海外研修等を活用した調査
 - ・主要都市への渡航調査

等

(1)



国際会議でのブース出展の様子
(令和4年9月11-15日：第12回IWA世界会議・展示会)



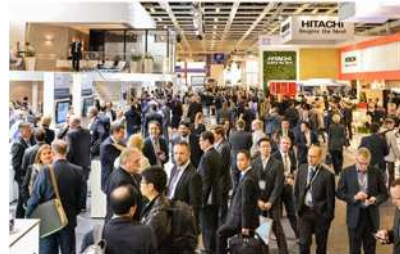
Tokyo Tech Book
(都が誇る高い技術力を国内外に示し、海外諸都市が抱える課題の解決に寄与すること等を目的とした冊子)

(2)



インフラツアーの様子
(令和4年11月28-29日：神田・環状七号線地下調節池)

(3)



海外主要都市への渡航調査の様子
(令和4年9月17-24日：ドイツ・ニュルンベルク
イノトランス(交通システムの先端技術等に関する
国際見本市))

(1) 令和6年度採用活動に向けた「都庁技術者」のPR

○技術職の仕事内容や魅力を体感

都庁インターンシップ、技術職現場見学会、
1day都庁オンライン仕事体験 など

○学生が都政に興味や関心をもつ情報発信

技術職PR動画作成（機械・電気）、東京TECHブログ、
OB・OG等による大学・工業高校への訪問 など

○入都試験合格者へのフォロー

オンライン事業説明会、本庁職場見学会、現場見学会

(1)



1day都庁オンライン仕事体験



技術職PR動画（土木・建築）
（昨年度の事例）

(2) 「都庁技術者」の育成

○現場講習会の充実

各局インフラ施設等の視察、研修 など

○ICT・DXに向けた技術者育成

インフラ分野のDX・脱炭素等の最新技術を学ぶ研修
各局DX活用研修等（協働） など

(2)



ICT建設機械活用工事視察
（昨年度の事例）



ZEBやDXの取組、防災技術の実験棟
等を見学（昨年度の事例）

- ・ 今年は関東大震災から100年の節目
- ・ 「TOKYO強靱化プロジェクト」の一環として、自らを守る取組を促すなど、自助・共助・公助に取り組む気運を醸成

＜ 関東大震災100年を契機としたムーブメントの展開 ＞



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

あらゆる世代の“自らを守る”取組の促進【自助】

防災力向上に向けた区市町村、コミュニティ、民間との連携促進【共助】

都市整備や防災まちづくりの理解促進【公助】



100年前の経験を再認識する
関東大震災シンポジウム



100年にふさわしい
総合防災訓練



震災の教訓等を踏まえた
テーマによる出前講座



町会・自治会をはじめ、
企業・NPOなど多様な主体
との連携強化



AR技術を活用した
効果的な防災訓練



ダイバーシティの観点から
防災のコンテンツを充実



児童、生徒向けの
教材作成



復興小公園の再生



復興アーカイブ
PR動画の作成



まちづくりでの
無電柱化の啓発強化

災害に強いまちづくりの理解促進等を図るため、震災当時や復興後の写真などを展示

<開催日> 6/12(月)～6/16(金)、7/10(月)～7/21(金)

<場 所> 東京都庁第二本庁舎 1階

震災当時・復興後の写真（京橋付近）



(出典) 東京都復興記念館所蔵資料

白黒写真カラー化



(出典) 東京都復興記念館所蔵資料
(写真カラー化) 東京大学大学院 渡邊英徳研究室

東京の水辺の将来像をどう描いていくべきか、過去の偉人がどのような未来を思い描き託してきたのかを考える

<テーマ> 未来の東京に向けた水辺整備

<開催日> 7/25(火)

<場 所> 新宿区立区民ホール（角筈区民ホール）



【基調講演】

○ 講演者

日本大学名誉教授
岸井 隆幸 氏



○ 講演テーマ

「新東京水辺百景へ」
未来のTOKYOに向けた水辺の整備・活用

【特別講演】

○ 講演者

静岡大学名誉教授
小和田 哲男 氏



○ 講演テーマ

徳川家康の江戸改造計画と河川

無電柱化の最新情報・製品・サービスを紹介し、無電柱化の推進に寄与することを目的として開催

＜開催日＞ 7/26(水)～ 7/28(金)

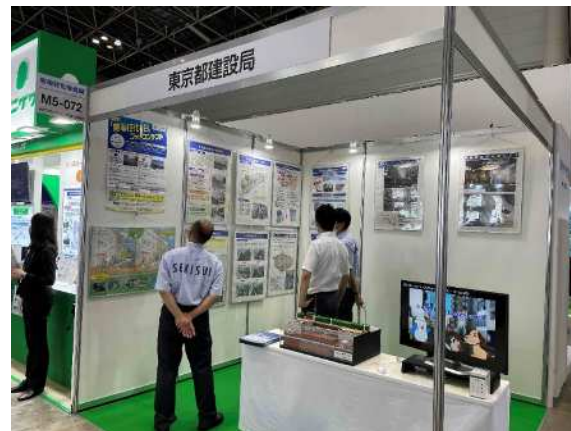
＜場 所＞ 東京ビッグサイト 東展示棟

＜主 催＞ 一般社団法人日本能率協会



【東京都講演】

- 令和5年7月26日（水）
10時40分～11時20分
- 講演テーマ
東京都の無電柱化の取組について



- ・ 震災被害、復興等を分かりやすく都民に伝えるPR動画を公開
- ・ 復興まちづくりの歩み（動画・写真）を地図上に表示し、見える化する復興デジタルアーカイブを公開



PR動画のイメージ



GISを活用した復興デジタルアーカイブのイメージ

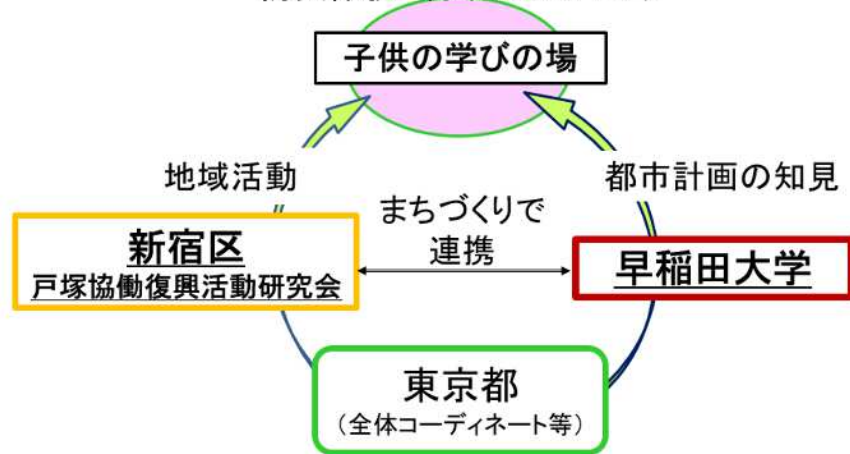
(出典) 東京都復興記念館所蔵資料

- ・次世代を担う子供を対象とした体験型学習を実施
- ・都が地域・大学と連携し、自らを守る取組を促進

〈実施時期〉 9月頃を予定

〈内 容〉 小学校での通学路周辺の危険度マップ作成、将来のまちづくり等

防災体験と将来のまちづくり



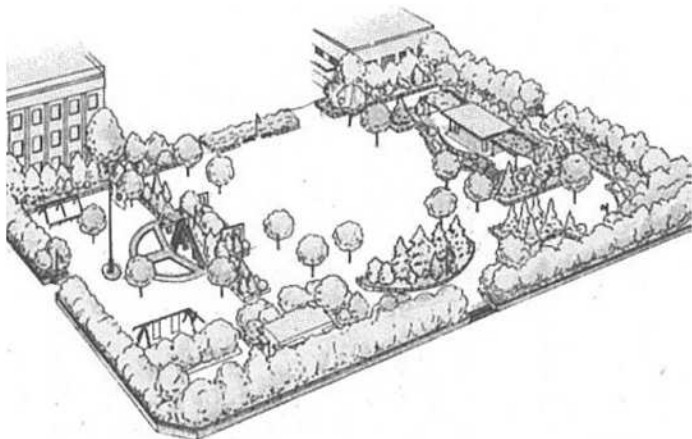
連携のイメージ



避難場所やルートを検討

- ・ 東京市は震災の焼失区域内において、地域の防災拠点等の役割を担う52か所の小公園を小学校に隣接して整備
- ・ 復興のシンボルになるとともに、後の都市公園等のモデルとなったが、時代の経過とともに3か所が消滅

震災100年を契機に関係区による復興小公園の再生を後押し



小学校隣接の復興小公園
(出典) 東京市役所編纂, 「帝都復興記念帖」



元加賀公園（江東区）1927年竣工
(東京都復興記念館所蔵)

・都市の防災等に関する普及啓発のためのイベントを支援する制度

〈支援対象〉 都内の民間団体等が年内に開催するセミナー・模擬体験等
(人件費、広報費、教材費、会場費、委託料、工事費等)

〈支援内容〉 交付金補助率：補助対象経費の2分の1

交付決定事例

(民間企業：アウトドア体験、一般社団法人：基調講演)



災害時に役立つアイテム体験



意識啓発を醸成する学術大会

今後の予定

民間企業による防災体験 (イメージ)



VR避難体験
(出典) ㈱能美防災HP



地震体験
(出典) ㈱白山工業HP